

産室から赤ちゃんの声！！

飼育員は見たべあ！

のぼりべつ
クマ牧場通信
81号

2024年
3月1日

発行

のぼりべつ
クマ牧場
動物課



産室内でのマロンの様子=2月12日

2024年1月23日、マロンが子グマを出産しました！

ヒグマは1月から3月に出産しますが、この時期の飼育員は、毎日ヒヤヒヤしながら産室の様子を見守っています。いつも通り産室の様子を見に行くと、子グマの鳴き声が聞こえてきました。産まれたばかりの子グマはとても小さく、お母さんは子グマをしっかりと抱えているので、出産の確認は子グマの鳴き声が頼りです。無事に出産を確認してホッとしましたが、その後の子育てがしっかりとできるのかを考えると、まだ安心はできません。マロンは今回初めての出産なのです。でもそんな心配をよそに、しっかりと子育てする様子が見られています。

産後3日間は母グマを刺激しないように音のみで観察をします。産室内には赤外線カメラを設置していて、モニター映像でも観察できます。4日目になって室内を覗くと、母グマの様子や巣ワラの状態はとても良く保たれていました。出産6日目に子グマを初めて目視で観察した時は、体長は30cmほど。体毛はすでに黒色でした。

トッキーとの間に生まれた子ですが、いったいどんな性格なのでしょう。トッキーの子グマ時代

はおとなしい性格で、抱っこされても静かでしたが、マロンはとても暴れん坊で体重測定も大変でした。どちらに似るのか、今後の成長がとても楽しみです。

教えて！！



Q カラスがごはんを奪っていきすけどカラスを襲わない理由はなんですか？

A しっかりとした理由は分かりませんが、カラスの方が瞬発力が高いため、クマがカラスの動きについていけないのかもしれないですね。またカラスも賢く、クマの動きをしっかりと見て距離を保っているため、襲われないというのもあると思います。

両者共に賢い動物なので、クマ牧場の中では共生関係ができているのかもしれないです。



カラスに対して無関心なミスキ
=2月15日

